|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 指導事例シート⑥ 　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　　　　）   |  | | --- | | **【地域資源の把握】**  **※事例提出した利用者の居住する中学校区の状況・特徴**  **※中学校区内に地域資源がなく、中学校区外で利用している地域資源があれば、その状況・特徴** | | | | |
| 項　　　目 | | 状　　況 | 地域資源の活用 |
| 地域の特徴 | 人口 |  |  |
| 年齢・性別人口 |  |  |
| 高齢化率 |  |  |
| 気候 |  |  |
| 交通状況 |  |  |
| 町の様子(住宅地・交通量等) |  |  |
| 公園・散歩コース |  |  |
| 役所・支援センター |  |  |
| 公民館・公共施設(図書館等) |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 近隣の交流 | 地区の行事 |  |  |
| 近所との付き合い・様子 |  |  |
| 地域のキーパーソン |  |  |
| 相談する人 |  |  |
| その他 |  |  |
| 災害時の対策 | 避難場所・避難所 |  |  |
| ライフライン(電気・ガス・水道) |  |  |
| 連絡を取る方法　等 |  |  |
| バイザーが考える、この提出事例で必要とするインフォーマルサポートは？ | あなたの提出事例の類型（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| **※これら中学校区の地域資源の把握から、地域づくり、政策提言の一助とする** | | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 指導事例シート⑧ 　　　　　受講者番号（　　　　　　　）　（氏　名：　　　　　　　　　　　　）  **例（認知症）**   |  | | --- | | **【地域資源の把握】**  **※事例提出した利用者の居住する中学校区の状況・特徴**  **※中学校区内に地域資源がなく、中学校区外で利用している地域資源があれば、その状況・特徴** | | | | |
| 項　　　目 | | 状　　況 | 地域資源の活用 |
| 地域の特徴 | 人口 | 人口は７２１０人で安定していますが、少子高齢化の影響により、若年層の減少と高齢層の増加が見られます。 |  |
| 年齢・性別人口 | ３５～３９歳代が７％、６０～６４歳代が８％となっており、少子高齢化の傾向が顕著に表れている。また、人口の内訳は男性が３３７４人（４７％）、女性が３８３６人（５３％）です。 |  |
| 高齢化率 | 現在の高齢化率は２３％であり、今後も緩やかに上昇していくと見込まれている。 |  |
| 気候 | 地域は温帯に属し、年間を通して降水量が多い気候です。年間平均気温は１７．９℃となっています。近年では、積雪量が増加する傾向が見られる。 |  |
| 交通状況 | 平地は国道とＪＲ線が並走しており渋滞が深刻  高台の公共交通機関はバスが主流。主要駅までは約２０分 |  |
| 町の様子(住宅地・交通量等) | 近郊農業が盛んで畑地が占めている。中心部は住宅、教育施設が密集している。中心を通る県道が通る。  農業従事者が高齢化しており、将来的に耕作放棄地が増えることが危惧されている。  朝、夕は交通量がかなり多い。 |  |
| 公園・散歩コース | 県立公園までは４ｋｍの距離に位置し、徒歩約１０分の場所には、地域住民に利用されている公園があり、テニスコートや遊具が設置されているほか、グランドゴルフなども楽しまれています。 | デイサービスのスタッフやご家族と一緒に公園内を散歩されており、居場所の一つになっている。 |
| 役所・支援センター | 支所１ケ所、委託型地域包括支援センター１ケ所、障害者支援センターは隣接地域に１ケ所、権利擁護サポートセンターは隣接地域に１ケ所 | 金銭管理に関することについて、権利擁護サポートセンターに相談中。 |
| 公民館・公共施設(図書館等) | 福祉会館３か所（児童ルーム有）保健センター、高齢者福祉センター  地区社協によるふれあい・いきいきサロン実施。住民の将棋、囲碁クラブ等が盛ん。 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 近隣の交流 | 地区の行事 | 夏祭りが自治体と子供会の共催で盛大に開催されるほか、運動会や敬老会など、地域住民の交流を深める様々な行事が実施されている。また、健康推進委員による高齢者向けのお弁当作りと、民生委員による安否確認を兼ねた配達が月１回行われており、地域全体で高齢者を支える体制が構築されている。地区内には、若いファミリー層が居住する新しい住宅地と、高齢化が進む昔ながらの地区という二つの側面が見られる。 | お弁当の配達時に、民生委員と会話を交わされ、変わったことがあれば、ケアマネに連絡が入るようにしている。  また、夏祭りでは、地域のボランティアや家族の付き添いのもと、盆踊りを一緒に踊ったり、屋台の雰囲気を楽しんだりしており、孤立感の解消につながっている。 |
| 近所との付き合い・様子 | 以前は、住民同士が隣近所と煮物などを分け合い、互いに助け合う温かい関係が築かれていた。しかし近年では、ライフスタイルの変化などにより、住民間の行き来は減少傾向。 |  |
| 地域のキーパーソン | 学区社会福祉協議会（学区社協）が、高齢者や子育て世帯など、地域住民が必要とする様々な福祉サービスに関する情報提供や相談支援を行っている。 |  |
| 相談する人 | 生活上の困りごとについて自治会長に相談することができる。また、近所に住む友人とは、子育て中からの付き合いを通じて、地域の様々な情報を共有し、日々の生活における精神的な支えとなっている。 | 買い物など、近所に住む友人が協力してくれている。 |
| その他 | 自治会の加入者が減少傾向。また、かつて活発に活動していた老人会は、現在活動を中止している。 |  |
| 災害時の対策 | 避難場所・避難所 | 小学校グラウンド、体育館  近所の公園  公民館　保育園  災害に備えて、避難訓練を実施している。 |  |
| ライフライン(電気・ガス・水道) | 電気：○○電力ガス：都市ガス。緊急時のメール配信サービス有  水道：上下水道とも市が管理ＴＶ、ネット、電話とも同じ会社で契約  ガスは緊急時のメール配信サービスがある。 |  |
| 連絡を取る方法　等 | 携帯電話、避難場所、近くの親戚を確認  避難訓練の際に、連絡方法の確認を自治体ごとにも実施している。 |  |
| バイザーが考える、この提出事例で必要とするインフォーマルサポートは？ | あなたの提出事例の類型（認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント）  複数のサービス事業所、医療機関があり、両隣や民生委員はじめとした協力相談体制もある。しかし認知症そのものに対する知識習得の機会や予防活動が少ないため、認知症啓発劇、認知症ケアパスの配布や、地域住民が参加できる話し相手ボランティア活動、認知症サポーター養成講座への参加等を促すようなインフォーマルサポートが求められています。 | | |
| **※これら中学校区の地域資源の把握から、地域づくり、政策提言の一助とする** | | | |